

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)乙第38号	氏名	江口正倫
学位審査委員	主査	川上 純	
	副査	蒔田 直昌	
	副査	李 桃生	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究の目的は、肺動脈性肺高血圧症（PAH）に対する脂肪由来幹細胞（ADRCs）の治療効果とその有効性発現の機序を検討することであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 PAH モデルは Wistar ラットに Monocrotalin (MCT) 50mg/kg を投与して作成し、ADRCs は同ラットの皮下脂肪から回収した。ADRCs (M/A 群) または PBS (MCT 群) を尾静脈から投与し、肺動脈圧は心エコー、右室圧はカテーテルで評価した。肺組織の病理学的評価、real time PCR 法を用いた肺組織における遺伝子発現変化も評価しており、研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、MCT 群では 13 匹中 3 匹が死亡したが M/A では死亡はなく、肺動脈壁の肥厚が抑制されていた。ADRCs から血管内皮細胞や平滑筋細胞への分化は認められなかったが、M/A 群では、Endothelin (ET) -1、ET receptor A、ET receptor B、Transforming growth factor β の発現上昇が抑制されていることが明らかとなり、今後の細胞移植を用いた肺動脈性肺高血圧症の治療に関する研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は細胞移植を用いた肺動脈性肺高血圧症の治療に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			